



卒業おめでとう

広島市立矢野中学校

平成28年2月29日 発行



矢野中通信

2月号



卒業おめでとう！ 3年生の卒業を心から祝福します

今までとは違う明るい日差しを受けて、つい先頃まで枯れたように見えていた木々の梢から、淡く色づく木の芽がでています。いよいよ3月。厳しい寒さにじっと耐え抜いた木々が、春の到来を告げてくれています。

さて、卒業までの日数がまもなくカウントダウンに入ります。3年生にとっては、義務教育終了が目前に迫ってきました。最後の最後まで充実した中学校生活を送って欲しいと思います。そして、一人一人に自分の希望した進路先から、春の知らせが届くことを願っています。

この9年間、自分の努力はもちろんですが、家族の人や仲間、地域の皆さんや先生方などに支えられて成長してきたことも事実です。いろいろな困難や苦悩する場面もあったことでしょうが、この節目にあたり、「感謝の気持ち」をもって矢野中学校を巣立って欲しいと思います。教職員一同、皆さんの『卒業』を心から祝福します。



三つの勇気をもとう

卒業する3年生、新たに次の学年に進級する在校生に、これからの生活で生かして欲しいことを伝えます。それは三つの勇気です。

まず、一つ目は「挑戦する勇気」です。

3年生にとってこれからは、それぞれが選んだ道を、自分で切り開く挑戦の場が始まります。「自分は、これをやりきる。この道を進むのだ。」と決めたら、一度や二度の失敗や困難にくじけず、挑戦し続けて欲しいと思います。在校生も、新たな自分をつくるための挑戦する場をたくさんもってください。人間を成長させるためには、失敗を恐れず挑戦する勇気が必要です。

さて、二つ目は「とどまる勇気」です。

ひとつの事を成し遂げるには、前ばかりを追う、がむしゃらな勇気だけではいけません。時には、客観的に自分の生き方を見つめ、振り返る事も大切です。自分は今、何を優先すべきなのか、何をあきらめなければいけないのか、それを考えられる人になって欲しいと思います。正しく生きるには、とどまる勇気が必要です。

そして、三つ目は「守る勇気」です。

これからも、みんなで力を合わせ、周りの人を大切にしながら、自分の幸せを求める日々が続きます。私たちが争いなく、それぞれの幸せを勝ち取るには、時にはガマンをし、一步引いて立ち止まり、現状を守る勇気も必要です。また、地域で生活するためには、社会のルールや家庭での約束、そしてマナーを守る勇気も必要です。

これから長い人生には、いろいろな事があると思いますが、これまで身に付けた「人を思いやる心」、「優しい心」を大切にして、もし困難に出会ったら、この「三つの勇気」を思い出して、力強く生き抜いていきましょう。生きるとは、進む事です。進むとは、私たち人間がそれぞれの幸せを求めて努力する事です。

矢野中学校で生活する皆さんに幸多かれ、そして、たくさんの希望や光が注ぐことを期待します。また、皆さんを取り巻く、保護者や地域の方々、教職員、たくさんの大人たちが皆さんを見守り、応援しています。頑張りましょう。